ユーザーガイド

Savings Plans

Version 1.0

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Savings Plans: ユーザーガイド

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスはAmazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Savings Plans とは 1
Savings Plans のタイプ 2
Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス 3
入門 6
サポートされる サービス 7
Amazon EC2 7
AWS Fargate 7
AWS Lambda 8
Amazon SageMaker AI 8
Savings Plans 推奨事項について 9
推奨事項の計算について 10
Savings Plans 推奨事項のカスタマイズ 11
Savings Plans 推奨事項の詳細の表示 11
Savings Plans 推奨事項のダウンロード 12
CSV フィールドの詳細 13
購入する Savings Plans の決定 14
分析計算について 14
Savings Plan s購入分析の実行 15
Savings Plan s購入分析の確認 16
Savings Plan s購入分析の完了 16
CSV フィールドの詳細 17
Savings Plans を購入する 18
Savings Plans 推奨事項の評価 18
カスタムコミットメントでの Savings Plans の購入 19
Savings Plans の購入をキューに登録する 20
Savings Plans の購入の確認と確定 21
購入した Savings Plans の解除 23
Savings Plans の解除に関する制限事項 24
コスト削減の機会について 25
Savings Plans の詳細の表示 25
Savings Plans アラートの管理 26
Savings Plans のモニタリング 27
Savings Plans のインベントリの表示 27
Savings Plans の更新 28

キューに登録されている Savings Plans を削除する 29
Savings Plans の料金表のダウンロード 30
Savings Plans のインベントリのダウンロード 30
Savings Plans の使用状況レポートの使用 31
使用率メトリクスと計算について 31
Savings Plans の使用状況レポートのダウンロード 32
Savings Plans のカバレッジレポートの使用 32
カバレッジメトリクスと計算について 32
Savings Plans のカバレッジレポートのダウンロード 33
Savings Plans の予算の使用 33
テンプレートを使用した Savings Plans の予算の作成 34
Savings Plans の予算のカスタマイズ 35
Savings Plans が の使用に適用される仕組みを理解する 37
Savings Plans を用いた場合の請求額の計算 37
Savings Plans の例 37
シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する 39
シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する 39
シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する 39
シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスを使用に適用する 40
シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する 40
Amazon EventBridge を使用した自動化 41
Savings Plans からのイベント例 41
Savings Plans 状態変更イベント 41
Savings Plans の状態変更アラートイベント 43
Identity and Access Management 46
ポリシーの構造 46
AWS 管理ポリシー 47
ポリシーの例 47
を使用した Savings Plans API コールのログ記録 AWS CloudTrail 49
CloudTrail での Savings Plans 情報 49
Savings Plans ログファイルエントリを理解する 50
クォータと制限 52
Savings Plans 52
ドキュメント履歴 53
..... lv

Savings Plans とは

Savings Plans では、1 年間または 3 年間の指定量のコンピューティング処理 (1 時間ごとに測定) を使用するコミットメントと引き換えに、オンデマンド料金を超える削減を提供します。

- 1 年: 1 年は 365 日 (31,536,000 秒) として定義されます。
- 3 年: 3 年は 1,095 日 (94,608,000 秒) として定義されます。

Savings Plans は、 AWS 使用量を節約できる柔軟な料金モデルを提供します。 AWS コンピューティングワークロードを最大 72% 節約できます。Compute Savings Plans は、インスタンスファミリー、インスタンスサイズ、OS、テナンシー、または AWS リージョンに関係なく、Amazon EC2 インスタンスの使用に対して低価格を提供します。これは、 AWS Fargate および AWS Lambda の使用にも適用されます。SageMaker AI Savings Plans は、インスタンスファミリー、インスタンスサイズ、コンポーネント、 AWS リージョンに関係なく、Amazon SageMaker AI インスタンスの使用に対して低価格を提供します。

AWS Cost Explorer でレコメンデーション、パフォーマンスレポート、予算アラートを使用して、プランを管理できます。

Savings Plans にサインアップすれば、使用量に対して支払う料金はプラン期間中変わりません。コミットメント料金は、[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] のオプションを使用して支払うことができます。

開始するには、 AWS Cost Explorer を使用して、推奨される Savings Plans コミットメントの表示、Savings Plans のレコメンデーションの更新、Savings Plans の購入、Savings Plans の管理、過去の AWS 使用状況の表示を行います。これらの推奨事項により、お客様にとって最適な Savings Plans のコミットメントレベルを簡単に知ることができます。ニーズに合わせて推奨事項をカスタマイズし、Savings Plans を購入できます。Savings Plans の対象となる AWS サービスの完全なリストを確認するには、「」を参照してください[Savings Plans の特典の対象となるサービス](#)。 Savings Plans

トピック

- [Savings Plans のタイプ](#)
- [Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス](#)

Savings Plans のタイプ

AWS には、Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、SageMaker AI Savings Plans の 3 種類の Savings Plans が用意されています。 Compute Savings Plans

- Compute Savings Plans は、柔軟性が最も高く、オンデマンド料金から最大 66% の割引が受けられます。これらのプランは、インスタンスファミリー (m5、c5 など) 、インスタンスサイズ (c5.large、c5.xlarge など) 、リージョン (us-east-1、us-east-2 など) 、オペレーティングシステム (Windows、Linux など) 、テナンシー (Dedicated、default、Dedicated Host など) に関係なく、EC2 インスタンスの使用に自動的に適用されます。また、Fargate と Lambda の使用にも適用されます。Compute Savings Plans を使用すると、ワークロードを c5 から m5 に移動したり、使用状況を欧州 (アイルランド) から欧州 (ロンドン) に移行したり、Fargate を使用してアプリケーションを Amazon EC2 から Amazon ECS に移行したりできます。これらの変更を行っても、Compute Savings Plans が提供する低価格のメリットを引き続き享受できます。
- EC2 Instance Savings Plans は、選択した AWS リージョン (バージニアの m5 など) の特定のインスタンスファミリーへのコミットメントと引き換えに、オンデマンドから最大 72% の割引を提供します。これらのプランは、リージョン内の指定されたファミリー内のインスタンスサイズ (m5.xlarge、m5.2xlarge など) 、OS (Windows、Linux など) 、テナンシー (ホスト、専有、デフォルト) に関係なく、 の使用に自動的に適用されます。

  EC2 Instance Savings Plans を使用すると、インスタンスタイプ (c5.xlarge から c5.2xlarge など) またはオペレーティングシステム (Windows から Linux など) 内でインスタンスサイズを変更したり、専有テナンシーからデフォルトに移行してEC2 Instance Savings Plans が提供する割引料金を引き続き受け取ることができます。
- SageMaker AI Savings Plans は、オンデマンド料金から最大 64% の節約を提供します。これらのプランは、インスタンスファミリー (ml.m5、ml.c5 など) 、インスタンスサイズ (ml.c5.large、ml.c5.xlarge など) 、リージョン (us-east-1、us-east-2 など) 、コンポーネント (ノートブック、トレーニングなど) に関係なく、SageMaker AI インスタンスの使用に自動的に適用されます。

  SageMaker AI Savings Plans を使用すると、ワークロードを ml.c5 から ml.m5 に移動したり、使用状況を欧州 (アイルランド) から欧州 (ロンドン) に移行したり、使用状況をトレーニングから推論にいつでも移行したりして、引き続きメリットを得ることができます。

> **Note**
>
> Savings Plans は、コミットメントと引き換えに低価格を提供します。コミットメント条件は、購入後に変更することはできません。使用量に変更があれば、追加の Savings Plans にサインアップできます。
> 専有インスタンスは、1 つ以上の専有インスタンスを実行しているすべてのリージョンで 1 時間あたり 2 USD が課金されます。これらの専用料金は、Savings Plans で割引されません。
> Compute と EC2 インスタンスの両方のプランタイプは、Amazon EMR、Amazon EKS、および Amazon ECS クラスターの一部である EC2 インスタンスに適用されます。Amazon EKS の料金は、Savings Plans でカバーされませんが、基礎となる EC2 インスタンスは Savings Plans でカバーされます。

Compute Savings Plans とリザーブドインスタンス

Compute Savings Plans は、Amazon EC2 リザーブドインスタンス (RI) と同様に低価格で提供される柔軟な価格モデルですが、さらに柔軟性があります。Savings Plans では、特定のインスタンス構成ではなく、一定量のコンピューティング使用量 (1 時間あたり USD で測定) にコミットすることで、請求額を削減できます。Savings Plans を利用すると、交換や変更を行うことなく、ニーズに最適なコンピューティングオプションを低価格で柔軟に使用できます。

Compute Savings Plans では、コンバーティブル RIと同様に、料金をオンデマンドより最大 66% 削減できます。Compute Savings Plans では、EC2 インスタンスの使用量、Fargate、Lambda のコストが自動的に削減されます。EC2 Instance Savings Plans は、スタンダード RI と同様に、オンデマンド料金から最大 72% の割引が受けられます。また、選択したリージョンの特定の EC2 インスタンスファミリー内のインスタンス使用の料金も自動的に削減されます。詳細については、「Savings Plans のタイプ」を参照してください。

Savings Plans と RI の比較

	Compute Savings Plans	EC2 Instance Savings Plans	コンバーティブル RI*	スタンダード RI
オンデマンドからの削減	最大 66%	最大 72%	最大 66%	最大 72%

	Compute Savings Plans	EC2 Instance Savings Plans	コンバーティブル RI*	スタンダード RI
金銭的コミットメントと引き換えの低価格	✓	✓	—	—
すべてのインスタンスファミリーに自動的に価格を適用	✓	—	—	—
すべてのインスタンスサイズに自動的に価格を適用	✓	✓	—**	—**
すべてのテナンシーや OS に自動的に価格を適用	✓	✓	—	—
Fargate を使用して Amazon ECS と Amazon EKS に自動的に適用	✓	—	—	—
Lambda に自動的に適用	✓	—	—	—
AWS リージョン間で料金を自動的に適用する	✓	—	—	—
1 年または 3 年の期間オプション	✓	✓	✓	✓

* コンバーティブル RIs は、インスタンスファミリー、インスタンスサイズ、OS、テナンシー間で変更できますが、手動で交換を実行する必要があります。

** リージョンのコンバーティブル RI とリージョンのスタンダード RI により、インスタンスサイズに柔軟に対応できます。

> **Note**
>
> Savings Plans ではキャパシティ予約は行えませんが、必要に応じてオンデマンドキャパシティ予約 (ODCR) を割り当てることができ、その場合は Savings Plans が適用されます。
> SUSE Linux Enterprise Server (SLES) を実行するインスタンスの Savings Plans 料金は、対応する RI 価格とは異なります。
> Savings Plans の価格は、時間単位のコミットメントの金額によって変わることはありません。
> Savings Plans は、スポットでの使用や、RI でカバーされる使用には適用されません。
> Savings Plans は、コミットメントと引き換えにオンデマンド価格よりも低価格で提供されるもので、期間中にキャンセルできません。

Savings Plans の使用開始

Savings Plans の使用を開始するには、Cost Explorer を有効にする必要があります。Cost Explorer は、Savings Plans でコストを最適化するのに役立つものです。Cost Explorer では、過去の AWS 使用状況に基づいてカスタマイズされた購入の推奨事項にアクセスしたり、Savings Plans を購入したり、購入したSavings Plans を簡単に管理したりできます。

コンソールを使用して Savings Plans AWS Billing and Cost Management を表示、分析、管理する前に、Cost Explorer で設定とアクセス許可を有効にすることから始めます。

前提条件

- Cost Explorer を有効にする。Savings Plans へのアクセスを管理するために、まず Cost Explorer へのアクセスを有効にします。推奨事項の作成に必要なデータが利用可能になるまでに、最大 24 時間かかることがあります。詳細については、「AWS Cost Management ユーザーガイド」の「Cost Explorer のアクセス制御」を参照してください。
- API を使用して購入を有効にする Savings Plans API の IAM アクセス許可の管理については、「Savings Plans API リファレンス」を参照してください。

Savings Plans の特典の対象となるサービス

AWS には、Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans 3 種類の Savings Plans が用意されています。 Compute Savings Plans SageMaker Compute Savings Plans は、Amazon EC2、 AWS Lambda、および 全体の使用量に適用されます AWS Fargate。EC2 Instance Savings Plans は EC2 の使用に適用され、SageMaker AI Savings Plans は SageMaker AI の使用に適用されます。

Amazon EC2

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) は、Amazon Web Service Inc. (AWS) のクラウドでスケーラブルなコンピューティングキャパシティーを提供します。Amazon EC2 の使用により、ハードウェアに事前投資する必要がなくなり、アプリケーションをより速く開発およびデプロイできます。Amazon EC2 を使用すると、必要な数 (またはそれ以下) の仮想サーバーの起動、セキュリティおよびネットワーキングの構成、ストレージの管理ができます。Amazon EC2 は、要件変更や需要増に応じてスケールアップまたはスケールダウンできるため、トラフィック予測の必要性を軽減できます。

Amazon EC2 の詳細については、「Amazon EC2 入門ガイド」の「Amazon EC2 とは」を参照してください。

AWS Fargate

AWS Fargate は、Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) と Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) の両方で動作するコンテナ用のサーバーレスコンピューティングエンジンです。Fargate を使用すると、アプリケーション構築への集中が容易になります。Fargate を使用すると、サーバーのプロビジョニングと管理が不要になり、アプリケーションごとにリソースを指定して支払いを行うことができます。また、バイデザインによるアプリケーション分離でセキュリティが向上します。

Fargate は、Compute Savings Plans の対象となります。

Amazon ECS on Fargateの詳細については、「Amazon Elastic Container Service デベロッパーガイド」の「Amazon Elastic Container Service とは」を参照してください。

Amazon EKS on Fargate の詳細については、「Amazon EKS ユーザーガイド」のうち、「Amazon Elastic Kubernetes Service とは?」を参照してください。

AWS Lambda

AWS Lambda は、サーバーのプロビジョニングや管理を行わずにコードを実行できるようにするコンピューティングサービスです。 は、必要な場合にのみコード AWS Lambda を実行し、1 日あたり数リクエストから 1 秒あたり数千リクエストまで自動的にスケーリングします。使用したコンピューティング時間に対してのみお支払いいただきます- コードが実行中でなければ料金はかかりません。を使用すると AWS Lambda、ほぼすべてのタイプのアプリケーションまたはバックエンドサービスのコードを実行できます。すべて管理なしで実行できます。 は、高可用性コンピューティングインフラストラクチャでコード AWS Lambda を実行し、サーバーとオペレーティングシステムのメンテナンス、容量のプロビジョニングと自動スケーリング、コードのモニタリングとログ記録など、コンピューティングリソースのすべての管理を実行します。

Lambda は Compute Savings Plans の対象となります。

Lambda の詳細については、「 AWS Lambda デベロッパーガイド」の「What is AWS Lambda？」を参照してください。

Amazon SageMaker AI

Amazon SageMaker AI は、フルマネージド型の機械学習サービスです。SageMaker AI を使用すると、データサイエンティストとデベロッパーは機械学習モデルをすばやく簡単に構築してトレーニングし、本番環境に対応したホスト環境にデプロイできます。

SageMaker AI は、データソースに簡単にアクセスして探索および分析できるように統合された Jupyter オーサリングノートブックインスタンスを提供するため、サーバーを管理する必要はありません。また、一般的な機械学習アルゴリズムも使用できます。そうしたアルゴリズムは、分散環境できわめて大容量のデータに対しても効率良く実行できるよう最適化されています。

bring-your-own-algorithmsとフレームワークをネイティブにサポートしている SageMaker AI は、特定のワークフローに合わせて調整できる柔軟な分散トレーニングオプションを提供します。SageMaker AI Studio または SageMaker AI コンソールから数回クリックして起動することで、安全でスケーラブルな環境にモデルをデプロイします。

SageMaker AI は SageMaker AI Savings Plans の対象となります。

Amazon SageMaker AI の詳細については、Amazon SageMaker AI デベロッパーガイド」のAmazon SageMaker AI とは」を参照してください。

Savings Plans 推奨事項について

コストを削減するために、 は過去の使用量に基づいてカスタマイズされた Savings Plans レコメンデーション AWS を提供します。これらの推奨事項に基づいて、削減できる項目とコミットメントの利用方法などを判断できます。

AWS アカウントのレコメンデーションを表示できます。を使用している場合は AWS Organizations、管理アカウントまたはメンバーアカウントレベルからレコメンデーションを表示できます。

Savings Plans 推奨事項を確認するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。

[推奨事項] ページの [推奨 Savings Plans] セクションに、Savings Plans の選択内容の詳細な内訳が表示されます。推奨事項には、以下のサマリーメトリクスが含まれます。

- 月別オンデマンド支出 - 選択した期間の使用量に基づいた推定オンデマンド支出。これには、計算時に所有しているすべてのアクティブな Savings Plans が含まれます。この値は、過去の使用量と現在の Savings Plans のコミットメントに基づく、オンデマンド支出の月別の額を表します。
- 推定月別支出額 — 推奨される Savings Plans のコミットメントに基づいて予測される支出。この値は、推奨されるコミットメントと、時間ごとの使用量の変動によりオンデマンドベースとなることが予測される使用量で構成されています。
- 推定月別削減額 - 推奨される Savings Plans を購入した場合での、選択した期間の使用量に基づく月別の純削減額。

> **Note**
>
> AWS Cost Explorer API 経由で Savings Plans 推奨事項を受け取ることもできます。

推奨事項の計算について

Savings Plans 推奨事項では、選択した期間の使用量を調べます。使用量に基づいて、その期間に Savings Plans で追加のコミットメントを設定していた場合の請求額が計算されます。最大の削減になる推定コミットメント値が特定され、推奨されます。

Important

- 推奨情報は使用状況を予測するものではありません。推奨事項は、選択したルックバック期間における使用量の履歴に基づいています。将来の使用量を反映するルックバック期間を必ず選択します。推奨事項はルックバック期間中の使用量に基づいているため、キューに登録されている購入や予定されている購入は、推奨事項で考慮されません。また、推奨事項は、即時の購入に対しても生成されますが、将来の購入に対しては生成されません。

  推奨事項は、[リザーブドインスタンスと Savings Plans の割引共有] の設定に基づいて計算されます。設定を確認または変更するには、「AWS Billing ユーザーガイド」の「リザーブドインスタンスと Savings Plans の割引共有」を参照してください。
- 管理アカウントレベルでの推奨事項は、リザーブドインスタンスまたは Savings Plans の割引共有が有効になっている AWS 組織内のすべてのアカウントでの使用量を考慮して計算され、アカウント全体の節約を最大化するコミットメントを推奨します。メンバーアカウントの推奨事項は、独立した各アカウントでの削減を最大化するために、個人アカウントレベルで計算されます。
- 推奨事項は、ルックバック期間 (7 日、30 日、または 60 日) のオンデマンド平均支出が 1 時間あたり 0.10 USD の顧客を対象として生成されます。Savings Plans を最近購入したか、解除したか、または Savings Plans が期限切れになった場合は、現在の Savings Plans のインベントリと最新の使用量データが反映されるように、Savings Plans 推奨事項を更新します。
- Compute Savings Plans と EC2 Instance Savings Plans の推奨事項は、同じ使用量を使用して作成されます。使用量をカバーするために Compute Savings Plans と EC2 Instance Savings Plans の両方を購入できますが、この 2 つの推奨事項を同時にまとめることはできません。
- 推奨事項は、「Savings Plans による料金」に記載されている Savings Plans の料金を使用して計算されます。

Savings Plans 推奨事項のカスタマイズ

[推奨事項] ページに表示されているパラメータを使用して、Savings Plans 推奨事項をカスタマイズできます。

Savings Plans 推奨事項をカスタマイズするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. Savings Plan sタイプで、Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、または SageMaker AI Savings Plans を選択します。
4. [Savings Plans の期間] を選択します。
5. [支払いオプション] を選択します。
6. [基準とする直近の期間] で日数を選択します。
7. (管理アカウントレベルのみ) [連結アカウント] タブを選択し、推奨事項の対象となるアカウント ID を選択します。
8. (オプション) プランを購入するには、希望するプランの横にあるチェックボックスをオンにし、[Savings Plans をカートに追加] を選択します。

選択内容をカスタマイズすると、それに応じて推奨事項が変わります。[AWS 推奨事項] セクションに、最適なオプションが表示されます。

Savings Plans 推奨事項の詳細の表示

Savings Plans 推奨事項の詳細では、推奨される Savings Plans が、1 時間あたりのオンデマンドの費用、カバレッジ、使用率に及ぼす潜在的な影響を把握できます。各推奨事項は、選択した推奨事項パラメータ、現在の Savings Plans のインベントリ、ルックバック期間中のオンデマンド支出を考慮して、削減額を最大化するように設計されています。レコメンデーションの詳細ページから Purchase Analyzer にアクセスしてレコメンデーションをカスタマイズし、カスタムコミットメントの次回の Savings Plan s購入のコスト、カバレッジ、使用率への影響を見積もることもできます。

Savings Plans 推奨事項の詳細を表示するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. [推奨事項] ページの [推奨される Savings Plans] セクションで、特定の Savings Plans の [詳細を表示] を選択します。

[推奨事項の詳細] ページには、推奨されるコミットメントを購入した場合の影響を示す 3 つのシミュレートされたチャートが表示されます。

- オンデマンドの費用: 現在の Savings Plans のコミットメント、推奨される Savings Plans の購入、および残りのオンデマンド支出が表示されます。
- カバレッジ: 推奨される Savings Plans の購入前と購入後のカバレッジが表示されます。
- 使用率: 推奨される Savings Plans の購入の使用率が表示されます。

> **Note**
>
> また、AWS Cost Explorer API を使用して、推奨される Savings Plans の詳細を取得することもできます。

Savings Plans 推奨事項のダウンロード

Savings Plans 推奨事項を CSV ファイル形式でダウンロードできます。CSV ファイル形式は推奨事項の確認や共有に便利です。

Savings Plans 推奨事項をダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. [推奨事項] ページの [推奨される Savings Plans] セクションで、[CSV のダウンロード] を選択します。

> **Note**
>
> 特定の Savings Plan の推奨事項は、[推奨事項の詳細] ページからダウンロードすることもできます。

CSV フィールドの詳細

ダウンロードした CSV ファイルには、以下の情報が含まれています。

- アカウント ID — メンバーアカウントの一意の識別子です。
- 提供する ID — 推奨事項の生成に使用される Savings Plans 料金の一意の識別子です。
- 1 時間ごとの購入へのコミットメント — 選択したパラメータに基づく、推奨される Savings Plans の時間単位のコミットメントです。
- 推定 Savings Plans の費用 — 選択した期間 (7 日、30 日、または 60 日) における、推奨される Savings Plans の購入後の推定費用の合計額です。
- 推定オンデマンドの費用 — 選択した期間 (7 日間、30 日間、または 60 日間) における、推奨される Savings Plans の購入後のオンデマンドの推定費用の合計額です。
- 現在の 1 時間あたりの平均オンデマンド費用 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの平均オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最小オンデマンド支出 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最小オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最大オンデマンド支出 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最大オンデマンド支出です。
- 推定平均使用率 — 現在の対象となるオンデマンドの費用に基づく、推奨される Savings Plans の推定使用率です。
- 推定月間削減額 — 過去の使用量と既に所有している Savings Plans に基づいた、Savings Plans の購入によって生じる推定削減額です。
- 推定削減率 — 現在の Savings Plans の対象となるオンデマンドの費用から、Savings Plans のコミットメントにより削減できる金額です。
- 推定 ROI — Savings Plans の推定投資利益率です。これは、推定削減額を Savings Plans の費用で割って計算されます。

購入する Savings Plans の決定

Savings Plans Purchase Analyzer は、Savings Plans の潜在的な購入をモデル化して評価できる機能です。これらの購入は、推奨購入金額を使用するか、独自のカスタム金額を入力して計算し、削減額、カバレッジ、使用率への影響を確認できます。ルックバック期間を調整するか、期限切れの Savings Plans を分析から削除することで、結果を微調整できます。Purchase Analyzer は、毎月の推定削減額やカバレッジ率などの主要なメトリクスを評価できるようにすることで、意思決定プロセスに役立ちます。

Purchase Analyzer を使用すると、次のことができます。

- Savings Plans の購入計画によるコスト、カバレッジ、使用率への影響を見積もります。
- カスタマイズ可能なパラメータを使用して、さまざまな購入シナリオをモデル化します。
- 異なるコミットメント金額の節約額とリスクを比較します。
- より多くの情報に基づいた Savings Plan の購入決定を行います。

Savings Plans Purchase Analyzer にアクセスするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの Savings Plans で、 Purchase Analyzer を選択します。

分析計算について

Savings Plan s購入分析では、選択した期間のコスト、カバレッジ、使用率を調べます。分析に基づいて、その期間に追加の Savings Plan コミットメントを購入する場合のオンデマンド支出を計算します。

> **Important**
>
> - 分析では、使用状況は予測されません。分析は、選択したルックバック期間における過去の使用状況に基づいています。将来の使用量を反映するルックバック期間を必ず選択します。分析はルックバック期間の使用状況に基づいているため、分析ではキューに入れられた購入やスケジュールされた購入は考慮されません。分析は、将来の購入ではなく、即時購入に対しても生成されます。

- 管理アカウントレベルでの分析は、Savings Plans の割引共有が有効になっている AWS 組織内のすべてのアカウントでの使用量を考慮して計算され、アカウント全体の削減額を最大化するコミットメントを推奨したり、カスタムコミットメントの影響を計算したりできます。メンバーアカウント分析は、個々のアカウントレベルで計算され、削減額を最大化するコミットメントを推奨したり、分離されたアカウントごとにカスタムコミットメントの影響を計算したりできます。

Savings Plan s購入分析の実行

Purchase Analyzer を使用して、計画された Savings Plan s購入分析用に複数のパラメータを設定します。

購入分析を実行するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、Savings Plans で Purchase Analyzer を選択します。
3. Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、または SageMaker Savings Plans を選択します。
4. [EC2 Instance Savings Plans] の場合は、リージョンとインスタンスファミリーを選択します。
5. 分析レベルで、支払者またはリンクされたアカウントを選択します。
6. リンクされたアカウントを選択した場合は、ドロップダウンメニューからリンクされたアカウントを選択します。
7. 期間 で、1 年または 3 年のコミットメント期間を選択します。
8. Payment オプションで、All upfront、Partial upfront、または No upfront を選択します。
9. ルックバック期間で、過去 60 日間のルックバック期間を選択します。
10. 有効期限が切れる Savings Plans を除外 で、分析から除外する 90 日以内に有効期限が切れる Savings Plans を選択します。
11. コミットメント で、推奨 または カスタム を選択します。
12. Custom を選択した場合は、時間単位のコミットメントの下に、希望する時間単位のコミットメント金額を入力します。
13. 分析の実行 を選択します。

Savings Plan s購入分析の確認

パラメータを設定して分析を実行すると、Purchase Analyzer は、履歴ルックバック期間の 1 時間ごとに結果の Savings Plan sを適用します。このプロセスでは、除外された Savings Plans を削除した後の Savings Plans インベントリに加え、さまざまなサービスやリージョンでの使用状況の構成も考慮されます。これにより、購入が独自の環境に与える影響を確認できます。データは、コスト、カバレッジ、使用率の 3 つのグラフで表示されます。タブを切り替えると、さまざまなメトリクスを表示し、データポイントにカーソルを合わせると、時間単位の詳細な情報が表示されます。

Purchase Analyzer ページの分析セクションには、視覚的な残業グラフが表示され、以下の概要メトリクスが含まれています。

- 月間削減額の見積もり – 推奨コミットメントまたはカスタムコミットメントを購入した場合、選択した期間の使用量に基づく月間純削減額。
- 1 時間あたりの平均カバレッジの増加 – 推奨コミットメントまたはカスタムコミットメントを購入する場合の、1 時間あたりの推定平均カバレッジの増加。
- 1 時間あたりの平均使用率 – 推奨コミットメントまたはカスタムコミットメントの 1 時間あたりの推定平均使用率。

> **Note**
>
> 購入分析は、AWS Cost Explorer API 経由で受け取ることもできます。

さまざまなシナリオをモデル化するには

1. 必要に応じてパラメータを調整します。
2. 分析の実行 を選択します。

   これにより、新しい結果が生成されます。
3. 異なるコミットメント金額または条件の結果を比較します。

Savings Plan s購入分析の完了

購入シナリオをモデル化したら、Savings Plan 分析を CSV ファイル形式でダウンロードすることを選択できます。これは、Savings Plan を確認または共有したり、カートに追加したりする際に便利です。

Savings Plan s分析を完了するには

1. Purchase Analyzer ページで、CSV ファイル形式で分析をダウンロードする CSV のダウンロード を選択します。
2. Purchase Analyzer ページで、Add Savings Plan sto cart を選択し、カートページで注文を確認します。

CSV フィールドの詳細

ダウンロードした CSV ファイルには、以下の情報が含まれています。

- サービス ID – 推奨コミットメントまたはカスタムコミットメントの生成に使用される Savings Plans 料金の一意の識別子。
- 購入に対する時間単位のコミットメント – 選択したパラメータに基づく Savings Plan sの時間単位のコミットメント。
- Savings Plans の推定コスト – 選択した期間 (7、30、または 60 日間) における、購入後の Savings Plan sの推定合計コスト。
- 推定オンデマンドコスト – 特定の期間 (7、30、または 60 日) における Savings Plans の購入後の推定オンデマンドコストの合計。
- 現在の 1 時間あたりの平均オンデマンド費用 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの平均オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最小オンデマンド支出 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最小オンデマンド支出です。
- 現在の 1 時間あたりの最大オンデマンド支出 — 選択した期間に観測された 1 時間あたりの最大オンデマンド支出です。
- 推定平均使用率 – 現在対象となるオンデマンドコストに基づく Savings Plans の予想使用率。
- 推定月間削減額 – 過去の使用量と既に所有している Savings Plan sに基づいて、Savings Plans の購入から生じる推定削減額。
- 推定削減額の割合 – Savings Plan sのコミットメントが、現在の Savings Plans 対象オンデマンドコストと比較して節約できる金額。
- 推定 ROI — Savings Plans の推定投資利益率です。これは、推定削減額を Savings Plans の費用で割って計算されます。

Savings Plans を購入する

Savings Plans には AWS Billing and Cost Management コンソールからアクセスできます。[推奨事項] ページまたは [Savings Plans の購入] ページから、選択した内容を Savings Plans カートに追加できます。レコメンデーションページを使用して、過去の使用状況に基づいて Savings Plans のレコメンデーションを表示することをお勧めします。Purchase Analyzer を使用して、次回の Savings Plan sの購入によるコスト、カバレッジ、使用率への影響を見積もることもできます。

トピック

- Savings Plans 推奨事項の評価
- カスタムコミットメントでの Savings Plans の購入
- Savings Plans の購入をキューに登録する
- Savings Plans の購入の確認と確定
- 購入した Savings Plans の解除

Savings Plans 推奨事項の評価

[推奨事項] ページにアクセスして、対象となる使用量に応じた削減に役立つ AWS が推奨する Savings Plans を確認できます。これらの推奨事項はいつでも更新できるため、削減に役立つ最適な Savings Plans を簡単に購入できます。アカウント向けに推奨される Savings Plans をカートに直接追加できます。[推奨事項] ページの表示方法や、推奨事項の計算方法の詳細については、「Savings Plans 推奨事項について」を参照してください。

[推奨事項] ページから Savings Plans を購入するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[推奨事項] を選択します。
3. Savings Plans 推奨事項を更新して、最近の利用状況や最新のSavings Plans のインベントリを含めます。
4. [推奨事項パラメータ] セクションで、ご希望の Savings Plans タイプ、Savings Plans 期間、支払いオプション、ルックバック期間を選択します。
5. [推奨される Savings Plans] の表で、購入する Savings Plans の横にあるチェックボックスをオンにします。

> **Note**
> 推奨されるコミットメントは、オンデマンド支出ではなく、Savings Plans の料金です。

6. [Savings Plans をカートに追加] を選択します。

> **Note**
> メンバーアカウントの推奨事項については、メンバーアカウントオーナーのみが Savings Plans 推奨事項をカートに追加し、推奨事項の購入に進むことができます。

7. (オプション) 推奨される購入品を今後の使用に備えてキューに登録するには、「Savings Plans の購入をキューに登録する」を参照してください。
8. 購入を完了するには、左側のペインで [カート] を選択します。
9. [カート] ページで注文を確認し、[注文書の送信] を選択します。

   [カート] ページの詳細については、「Savings Plans の購入の確認と確定」を参照してください。

カスタムコミットメントでの Savings Plans の購入

推奨額とは異なる額のコミットメントで Savings Plans を購入できます。[Savings Plans の購入] ページで、任意の額のコミットメントを設定して Savings Plans を購入します。

Savings Plans を購入するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[Savings Plans の購入] を選択します。
3. Savings Plans タイプで、Compute Savings Plans、EC2 Instance Savings Plans、または SageMaker AI Savings Plans を選択します。
4. [EC2 Instance Savings Plans] の場合は、リージョンとインスタンスファミリーを選択します。
5. [期間] で、Savings Plans のコミットメント期間を選択します。
6. [コミットメントの設定] の [1 時間あたりのコミットメント] に、1 時間あたりのコミットメント額を入力します。

> **Note**
>
> 時間単位のコミットメントは、Savings Plans の料金であり、オンデマンド支出ではありません。

7. [支払いオプション] で、[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] を選択します。
8. [一部前払い] を選択した場合は、一部前払い額を入力します。
9. (オプション) Savings Plans を将来の日付で開始するようにキューに登録するには、[開始日] を設定します。
10. [Add to cart] (カートに追加) を選択します。

> **Note**
>
> カートに追加する前に、Savings Plan の分析を選択して、Savings Plan の詳細とコミットメントを Purchase Analyzer に転送できます。ここでは、分析を確認、更新、または実行して、計画された Savings Plan sの購入の影響を確認できます。

11. [カート] ページで注文内容を確認し、[注文書の送信] を選択します。

Savings Plans の購入をキューに登録する

Savings Plans の購入を将来の日付で行うようにキューに登録することや、スケジュールを設定することができます。カバレッジを開始する正確な時刻を日付で指定できます。前払い料金または定期料金は、選択した開始日にキューに登録されている購入が処理された場合にのみ請求されます。このキューに登録されている購入は、開始日の前であればいつでも削除できます。

将来の Savings Plans の購入をキューに登録するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. [Savings Plans の購入] ページまたは [推奨事項] ページから Savings Plans を追加します。

   このプロセスについては、「Savings Plans 推奨事項の評価」または「カスタムコミットメントでの Savings Plans の購入」を参照してください。
3. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カート] を選択します。
4. Savings Plans を選択します。

5. [開始日を設定] を選択します。
6. [日付] と [時刻] を選択します。

   3 年先までの将来の購入をキューに登録することができます。正確な秒を指定することもできます。過去の日付は適用されません。

   > **Note**
   >
   > Savings Plans の購入は、開始日の時点で処理および検証され、開始日の同じ暦月内にすべての検証に合格し、請求される必要があります。Savings Plans での購入は支払い失敗としてマークされ、UTC タイムゾーンの月末までに処理が完了しなければ、使用量に対する割引は適用されません。

7. [確認] を選択してください。
8. (オプション) 開始日をクリアするには、[開始日を設定] を選択します。
   - [開始日を削除] を選択します。
9. [注文書の送信] を選択します。

キューに登録されている購入はすべて、[アカウントインベントリ] ページに [キューに入れられました] というステータスで表示されます。キューに登録されている購入を、開始日より前に削除する方法については、「キューに登録されている Savings Plans を削除する」を参照してください。

Savings Plans の購入の確認と確定

Savings Plansの [カート] ページでは、購入準備が整うまでコミットメントが保管されます。

[カート] ページから購入を確認して確定するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カート] を選択します。
3. 注文を次のように確認します。
   - タイプ: Savings Plans のタイプです。詳細については、「Savings Plans のタイプ」を参照してください。
   - 期間: コミットメント期間 (年単位) です。1 年または 3 年の期間を選択します。

> **Note**
>
> 1 年: 1 年は 365 日 (31,536,000 秒) として定義されます。
> 3 年: 3 年は 1,095 日 (94,608,000 秒) として定義されます。

- リージョン: (EC2 Instance Savings Plans にのみ適用) コミットする AWS リージョン。例えば、`US East (N. Virginia)`。
- インスタンスタイプ: コミットする インスタンスファミリー (M5、C5、R5、C5d など) (EC2 Instance Savings Plans にのみ適用)。
- 購入オプション: コミットメントの購入オプションです。[全額前払い]、[一部前払い]、または [前払いなし] から選択します。
- 開始日: コミットメントが購入される日付と時刻 (UTC) です。デフォルトでは、日付は [今すぐ] に設定されています。これは、注文書を送信するとすぐに購入が完了することを示しています。
- コミットメント: Savings Plans に関連する時間単位のコミットメント額で、Savings Plans 料金での期間です。
- 前払い支払い: 選択した支払いオプションに従って、チェックアウト時に請求される料金の前払い分です。
- 月額料金: Savings Plans の月額料金です。この料金は、プランの期間中に毎月請求されます。
- 合計コスト: 選択した期間における Savings Plans の合計コミットメントです。これには、期間中の前払いと定期月額料金が含まれます。

4. [概要] セクションの以下の内容を確認します。

   - コミットメント総額: 開始日や支払いオプションに関係なく、現在カートに入っているすべての Savings Plans の費用の合計です。
   - 現在開始するコミットメント総額: [開始日] が [今すぐ] に設定されている Savings Plans の [前払い料金] の合計です。

5. (オプション) 各アイテムを選択し、[カートから削除] を選択して、カートから Savings Plans を削除します。
6. (オプション) 最初からやり直すには、[カートをクリア] を選択してすべてのアイテムを削除します。
7. (オプション) [別の Savings Plan を追加] を選択して、新しいコミットメントを追加します。
8. [注文書の送信] を選択します。

購入の完了時にエラーメッセージや失敗した試行が発生した場合は、 にお問い合わせください サポート。へのお問い合わせ方法の詳細については サポート、 AWS Billing ユーザーガイドの 請求書と支払いに関するヘルプを参照してください。

購入した Savings Plans の解除

Savings Plans を購入する際は、1 年または 3 年のコミットメントを設定します。ただし、Savings Plans を購入後、購入ミスにすぐに気付いて修正が必要な場合、限られた期間内であれば修正が可能です。過去 7 日間および同じ暦月に購入した 1 時間あたりのコミットメントが 100 USD 以下の Savings Plan sは、返品制限に達していない限り、返品できます。(UTC 時間で) その暦月が終了すると、購入した Savings Plans は解除できなくなります。クォータの詳細については、「クォータと制限」を参照してください。

Savings Plans を解除すると、プランに対して支払った前払い料金は 100% 返金され、この返金は解除から 24 時間以内に請求書に反映されます。このプランでカバーされていた使用量は、オンデマンド料金で請求されるか、該当する場合は別の Savings Plans でカバーされます。

Savings Plan sは、コンソールを使用するか、 AWS SDK/CLI から `ReturnSavingsPlan`アクションを呼び出すことで返すことができます。

アクティブな Savings Plans を解除するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. Savings Plans を選択して、[Savings Plans の詳細] ページを開きます。
4. [Savings Plans を解除する] を選択します。

> **Note**
> [Savings Plans を解除する] ボタンは、Savings Plans が解除対象となる場合にのみ詳細ページに表示されます。

5. [Savings Plans を解除する] ダイアログボックスで、[解除を確認] を選択します。

> **Note**
> このアクションは元に戻せません。

解除された Savings Plans は、コンソールの [Savings Plans のインベントリ] ページでも、 AWS SDK/CLI を通じて `DescribeSavingsPlans` アクションを呼び出すことでも表示できます。解除された Savings Plans は [解除済み] のステータスで表示されます。

Savings Plans の解除に関する制限事項

Savings Plans の解除リクエストを送信したが、そのプランが解除対象外である場合は、以下のいずれかの理由に関連するエラーが表示されます。

- 一括請求ファミリーの上限に達した。1 つの AWS アカウントを使用している場合、そのアカウントの制限は満たされています。

  クォータの詳細については、「クォータと制限」を参照してください。
- Savings Plans が [active] 状態でない。アクティブな Savings Plans のみ解除できます。[payment-pending] の Savings Plans を解除するには、アクティブになるまでお待ちください。
- 1 時間あたりのコミットメント額が 100 USD を超えている。
- アクセス許可が不十分なユーザーがリクエストを行った。

> **Note**
>
> ルートユーザーまたは `savingsplans:returnSavingsPlan` アクセス許可を持つ IAM ユーザーのみが自分のアカウントの Savings Plans を解除できます。 AWS 管理ポリシーには、そのアクセス許可`AWSSavingsPlansFullAccess`が含まれます。

- Savings Plans を購入したのが現在の月でないか、現在の月であっても過去 7 日より前である。
- Savings Plan sは全額前払いまたは一部前払いの Savings Plan であり、ブラジル AWS または AWS トルコで登録されています。

  登録販売者 (SOR) の詳細については、「登録販売者の検索」を参照してください。
- 管理アカウントが、Savings Plans の購入時に使用した管理アカウントと異なる。

コスト削減の機会について

AWS Cost Management コンソールの概要ページを使用して、潜在的な削減機会に加えて、所有している Savings Plans を表示できます。

> **Note**
>
> 現在 Savings Plans を所有していない場合、[概要] ページには Savings Plans の仕組みの概要と、過去の使用量に基づいて推奨される Savings Plans の購入が表示されます。

Savings Plans の概要にアクセスするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] の [概要] を選択します。

コスト削減の機会は、過去に Savings Plans を購入したかどうかに応じて、[その他の割引サービス] または [割引サービス] に表示されます。

推奨事項の詳細を確認するには、[推奨される Savings Plans を表示] を選択します。Savings Plans 推奨事項の計算方法の詳細については、「Savings Plans 推奨事項について」を参照してください。

Savings Plans の詳細の表示

Savings Plans を購入すると、[概要] ページに [詳細] セクションが表示されます。[詳細] セクションには、購入した Savings Plans に関連する以下のメトリクスが表示されます。

- タイプ — Savings Plans のタイプごとにサマリーを決定します。
- MTD/YTD プラン – 選択した期間中にアクティブになった Savings Plans の数です。
- MTD/YTD コミットメント – 選択した期間中に償却されたコミットメントの合計数です。
- MTD/YTD 使用率 – 選択した期間中の平均使用率です。
- MTD/YTD 削減額 - 選択した期間中の Savings Plans の削減額の合計です。

所有している Savings Plans の詳細を表示するには、[詳細] セクションで [すべて表示] を選択するか、左側のナビゲーションペインで [インベントリ] を選択します。

Savings Plans アラートの管理

Cost Explorer では、現在アクティブな Savings Plans の有効期限と、キューに登録されている開始予定の Savings Plans を追跡することができます。Savings Plans アラートを使用すると、Savings Plan の有効期限の 1 日前、7 日前、30 日前、60日前、またはコミットメントが購入用にキューに登録されているときに、事前のメールアラートを受け取ることができます。この通知により、有効期限日でもアラートを受け取ることができ、最大 10 人の E メール受信者に送信できます。

Savings Plans のアラートサブスクリプションを管理する方法については、「AWS Billing ユーザーガイド」の「予約アラートとSavings Plans アラートの表示、作成、更新、削除」を参照してください。

Savings Plans の有効期限またはキューに登録されている購入に関するアラートをオンにするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] の [概要] を選択します。
3. [アラートサブスクリプションを管理] をクリックします。
4. [アラート頻度] セクションで、アラートを受け取る日をすべて選択します。
5. [E メールの受信者] セクションに、受信者のメールアドレスを入力します。
6. [Save] を選択します。

AWS は Savings Plans の設定をモニタリングし、設定に応じてアラートを自動的に送信します。

Savings Plans のモニタリング

モニタリングは、Savings Plans の使用において重要な部分です。Savings Plans でコストを最適化するには、保有している Savings Plans を理解すること、そのプランが使用量にどのように適用されるのか、どの使用量をカバーするのかを把握することが重要です。使用量は、Savings Plans の [インベントリ] ページでのモニタリングで、または使用率とカバレッジのレポートで確認できます。Savings Plans の使用率、カバレッジ、コストに対する予算を設定することもできます。

トピック

- Savings Plans のインベントリの表示
- Savings Plans の使用状況レポートの使用
- Savings Plans のカバレッジレポートの使用
- Savings Plans の予算の使用

Savings Plans のインベントリの表示

Savings Plans のインベントリページには、所有している、または将来購入が登録されている Savings Plans の詳細な概要が表示されます。

のメンバーアカウントのユーザーは AWS Organizations、特定のメンバーアカウントが所有する Savings Plans を表示できます。組織の管理アカウントのユーザーである場合は、管理アカウントのみが所有する Savings Plans を表示するか、組織内のすべてのアカウントが所有する Savings Plans を表示できます。[アカウントインベントリ] または [組織インベントリ] を選択してビューを変更できます。

> **Note**
>
> 最近購入した Savings Plans は、購入後すぐにアカウントインベントリに表示されます。Savings Plans が組織インベントリビューに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

[インベントリ] ページを表示するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。

Savings Plans 表には、購入した Savings Plans に関する以下の情報が表示されます。

- Savings Plan ID — 個々の Savings Plans の一意の識別子です。
- アカウント ID — 特定の Savings Plans を所有するアカウント ID です。この列は、[組織インベントリ] ビューにのみ表示されます。
- ステータス — 各 Savings Plans のステータスです。例えば、アクティブ、登録されているなどです。
- タイプ — Savings Plans のタイプです。
- インスタンスファミリー — Savings Plans の対象となるインスタンスファミリーです。これは EC2 Instance Savings Plans タイプにのみ適用されます。
- リージョン – Savings Plan sがコミットされている AWS リージョン。これは EC2 Instance Savings Plans タイプにのみ適用されます。
- コミットメント — 特定の Savings Plans に対して 1 時間あたりでコミットされた支出額です。
- MTD 実割引額 — 特定の Savings Plans コミットメントの使用状況に基づく、オンデマンドと比較した実際の削減額です。この列は、[組織インベントリ] ビューにのみ表示されます。
- 開始日 — Savings Plans のコミットメントが開始された日付です。
- 終了日 — Savings Plans のコミットメントが終了する日付です。

Savings Plans の更新

アクティブな Savings Plans の有効期限が近づいている場合は、アクティブな Savings Plans の有効期限が切れるとすぐに購入を開始するようにキューに登録することができます。これにより、Savings Plans の継続的なカバレッジが保証されます。

Savings Plans の購入をキューに登録して、期限切れになる Savings Plans を置き換えるには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. チェックボックスを使用して、参照 Savings Plans を選択します。

   一度に選択できる Savings Plans は 1 つだけです。選択した Savings Plans はアクティブステータスでなければなりません。

4. [アクション] を選択します。
5. [Savings Plan を更新する] を選択します。
6. (または) 参照 Savings Plans を選択します。
   - [Savings Plan の詳細] ページで、[Savings Plan を更新する] を選択します。

> **Note**
>
> [Savings Plan を更新する] によって、同じ設定でプランが更新され、料金は、現在の Savings Plans の料金を使用して請求されます。これにより、新しい Savings Plans の開始日は、参照 Savings Plans の有効期限の 1 秒後に自動的に設定されます。
> 参照 Savings Plans を購入した時点からの使用量または Savings Plans の料金の変化に応じて、コミットメント額を変更したい場合があります。

7. [カート] ページで [注文書の送信] を選択します。

[カート] ページの詳細については、「Savings Plans の購入の確認と確定」を参照してください。

キューに登録されている Savings Plans を削除する

キューに登録されている Savings Plans を使用すると、オンデマンドの使用量を引き続きカバーできます。ただし、開始日が近づくにつれ、お客様の希望が変わる可能性があることは承知しています。次の手順を使用して、キューに登録されている購入分を削除できます。

キューに登録されている Savings Plans の購入分を削除するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[Savings Plans] セクションの [インベントリ] を選択します。
3. 削除するキューに登録されている Savings Plans を選択します。

   ステータスは「`Queued`」とマークされている必要があります。
4. [アクション] を選択します。
5. [キューに登録された Savings Plans を削除する] を選択します。
6. (または) キューに登録されている Savings Plans を選択します。

- [Savings Plan の詳細] ページで、[キューに登録された Savings Plans を削除する] を選択します。

7. ポップアップウィンドウで、[削除] を選択します。

Savings Plans の料金表のダウンロード

所有する各 Savings Plan の詳細情報を含む CSV ファイルをダウンロードできます。Compute Savings Plans では、ファイルのダウンロードに時間がかかる場合があります。

Savings Plans の料金ファイルをダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、[Savings Plans ID] を選択します。
4. [Savings Plans の詳細] ページで、[Savings Plans の料金をダウンロード] を選択します。

Price List Bulk API を使用して Savings Plans AWS 料金をダウンロードすることもできます。詳細については、「AWS Billing ユーザーガイド」の「一括 API の使用」を参照してください。

Savings Plans のインベントリのダウンロード

Savings Plans の表にある Savings Plans の詳細情報がすべて記載された CSV ファイルをダウンロードできます。

Savings Plans のインベントリファイルをダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、[CSV のダウンロード] を選択します。

   [インベントリ] ページですべての Savings Plans をダウンロードすることも、CSV ファイルをダウンロードする前に任意の数の Savings Plans を選択することもできます。

Savings Plans の使用状況レポートの使用

Savings Plans の使用率には、Savings Plans のコミットメントのうちオンデマンド使用量全体で使用している割合が表示されます。Savings Plans の使用状況レポートを使用すると、設定した期間の使用量に Savings Plans がどのように適用されるかを視覚的に把握できます。レポートには、視覚化されたグラフのほか、選択した Savings Plans、フィルター、ルックバック期間に基づく大まかなメトリクスが表示されます。使用率は、ルックバック期間中に Savings Plans がどのように使用量に適用されたかに基づいて計算されます。

例えば、1 時間あたり 10 USD のコミットメントがあり、Savings Plans の料金で請求される使用量が 1 時間あたり合計 9.80 USD の場合、その時間の使用率は 98% になります。

使用状況レポートを表示するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、関連する [Savings Plan ID] を選択します。
4. [Savings Plan の詳細] で、[使用状況レポートを表示] を選択します。

使用率メトリクスと計算について

大まかなメトリクスは、[使用状況レポート] セクションで確認できます。

- Savings Plans の支出 — ルックバック期間中のSavings Plans のコミットメント支出額です。
- オンデマンド支出同等額 — Savings Plans にコミットしていなかったならば同じ使用量に対して費やしたであろう金額です。この金額は、現在のオンデマンド料金に基づく同等のオンデマンドの費用です。
- 合計純削減額 — 選択した期間に Savings Plans のコミットメントを使用して削減した金額を、オンデマンドの費用の推定額と比較したものです。

Savings Plans の使用率は、ルックバック期間に基づいて、時間単位、日単位、または月単位で確認できます。[フィルター] セクションでは、メンバーアカウント、 AWS リージョン、Savings Plans タイプ、インスタンスファミリーごとにフィルターをカスタマイズできます。

管理アカウントのユーザーであれば、一括請求ファミリー全体の利用状況を集計して確認できます。

Savings Plans の使用状況レポートのダウンロード

Savings Plans の使用状況レポートデータの CSV ファイルをダウンロードできます。

使用状況レポートをダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[使用状況レポート] を選択します。
3. [使用状況レポート] ページで、[グラフ (CSV) をダウンロード] を選択します。

Savings Plans のカバレッジレポートの使用

Savings Plans カバレッジレポートには、選択した期間中に Savings Plans でカバーされている該当する AWS 使用コストの割合が表示されます。

カバレッジレポートを表示するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[インベントリ] を選択します。
3. [Savings Plans] セクションで、関連する [Savings Plan ID] を選択します。
4. Savings Plan sの詳細で、カバレッジレポートの表示を選択します。

カバレッジメトリクスと計算について

[カバレッジレポート] セクションには、以下の大まかなメトリクスが表示されます。

- オンデマンド支出は対象外 — ルックバック期間中にSavings Plans またはリザーブドインスタンスでカバーされなかった対象となる削減支出の金額です。
- 平均カバレッジ — 選択したフィルターとルックバック期間に基づいて集計された Savings Plans のカバレッジ率です。
- 潜在的な月額削減額とオンデマンド — Savings Plans 推奨事項に基づく潜在的な削減額です。これは月額として表示されます。

カバレッジは次のように計算されます。

(Savings Plans の対象となる使用量と同等のオンデマンド)

÷

（ Savings Plans でカバーされるオンデマンド相当の使用量 + オンデマンド料金で請求された Savings Plans の対象金額 ）

例えば、1 時間あたり 1.00 USD のオンデマンド料金で 10 個の同じインスタンスを実行していて、実行している 10 個のインスタンスのうち 9 個が Savings Plans のコミットメントの対象になっている場合、カバレッジは 90% になります。

(9 つの Savings Plans 対象インスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD の OD レート)

÷

(9 つの Savings Plans 対象インスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD OD レート + 1 オンデマンドインスタンス x 1 時間あたり 1.00 USD の OD レート)

使用量は、時間単位、日単位、または月単位できめ細かく確認できます。使用量は、選択したルックバック期間を使用して計算されます。フィルターセクションで、メンバーアカウント、 AWS リージョン、インスタンスファミリー、サービス、コストカテゴリ別にフィルターをカスタマイズできます。

管理アカウントのユーザーは、一括請求ファミリー全体のカバレッジを集計して確認できます。

Savings Plans のカバレッジレポートのダウンロード

Savings Plans カバレッジレポートデータの CSV ファイルをダウンロードできます。

カバレッジレポートをダウンロードするには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [Savings Plans] で、[カバレッジレポート] を選択します。
3. [カバレッジレポート] ページで、[グラフ(CSV) をダウンロード] を選択します。

Savings Plans の予算の使用

AWS Budgets を使用して、Savings Plan sの使用率、カバレッジ、コストの予算を設定できます。コストは、最適化を継続しながら追跡できます AWS。

Savings Plans の予算を作成して設定するには、次の 2 つの方法があります。

- テンプレートの使用 (簡易)
- 予算のカスタマイズ (詳細)

詳細については、「 コスト管理ユーザーガイド」の AWS 「 予算によるコストの管理」を参照してください。 AWS

テンプレートを使用した Savings Plans の予算の作成

以下の手順に従い、テンプレートを使用して Savings Plans のカバレッジ予算を作成します。

推奨設定のテンプレートを使用して予算を作成できます。予算テンプレートは、 AWS 予算のカスタマイズ (アドバンスド) に必要な 5 ステップのワークフローとは異なり、単一ページのワークフローで Budgets の使用を開始する簡単な方法です。

テンプレートを使用して Savings Plans カバレッジ予算を作成するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[予算] を選択します。
3. ページの上部で、[予算を作成] を選択します。
4. [予算設定] で、[テンプレートを使用 (シンプル)] を選択します。
5. [テンプレート] で、[日次の Savings Plansのカバレッジ予算] を選択します。
6. [予算名] で、予算の名前を入力します。予算名はアカウント内で一意であることが必要で、A ~ Z、a ~ z、スペース、および次の文字を使用できます。

   ```
   _.:/=+-%@
   ```

7. カバレッジしきい値には、 AWS 通知するカバレッジの割合を入力します。例えば、80% を超えるように維持する場合のカバレッジ予算では、「**80**」と入力します。全体のカバレッジが 80% を下回ると、通知されます。
8. [E メールの受信者] で、通知の送信先の E メールアドレスを入力します。複数の E メールアドレスを入力する場合は、カンマで区切ります。通知には、最大 10 個の E メールアドレスを関連付けることができます。
9. [予算の作成] をクリックします。

Savings Plans の予算のカスタマイズ

次の手順を使用して、Savings Plans の使用率や Savings Plans カバレッジのカスタマイズされた予算を作成します。

予算をカスタマイズして、ユースケースに固有のパラメータを設定できます。期間、開始月、特定のアカウントをカスタマイズできます。カスタマイズされた予算を作成するには、5 ステップのワークフローが必要です。

Savings Plans 予算を作成するには

1. https://console.aws.amazon.com/costmanagement/ で Billing and Cost Management コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[予算] を選択します。
3. ページの上部で、[予算を作成] を選択します。
4. [Budget setup] (予算の設定) で、[Customize (advanced)] (カスタマイズ (高度)) を選択します。
5. [Budget types] (予算タイプ) で、[Savings Plans budget] (Savings Plans の予算) を選択します。
6. [次へ] を選択します。
7. [予算名] で、予算の名前を入力します。予算名はアカウント内で一意であることが必要で、A ~ Z、a ~ z、スペース、および次の文字を使用できます。

   ```
   _.:/=+-%@
   ```

8. [期間] で、実際の使用量と予測される使用量を予算でリセットする頻度を選択します。毎日の場合は [日別]、毎月の場合は [月別]、3 か月ごとの場合は [四半期単位]、または毎年の場合は [年単位] を選択します。すべての予算の時刻は協定世界時 (UTC) です。
9. [支出のモニタリング] で、追跡する予算を選択します。

   Savings Plans の使用率は、使用した Savings Plans の程度を指します。

   Savings Plans のカバレッジは、Savings Plans がカバーする使用量です。
10. 使用率のしきい値には、 AWS 通知する使用率を入力します。例えば、使用率の予算で Savings Plans の使用率が 90% を超えるように維持する場合は、「**90**」と入力すると、Savings Plans 全体の使用率が 90% を下回ったときに通知されます。
11. カバレッジしきい値には、 AWS 通知するカバレッジの割合を入力します。例えば、80% を超えるように維持する場合のカバレッジ予算では、「**80**」と入力します。全体のカバレッジが 80% を下回ると、通知されます。

12. [予算の範囲] に、[フィルター] を追加し、詳細オプションを使用して、予算の一部として追跡される費用情報を絞り込みます。
13. [次へ] を選択します。
14. [アラートの設定] で、予算アラートを E メールまたは Amazon SNS トピックで送信するかどうかを選択します。
15. [E メールの受信者] で、通知の送信先の E メールアドレスを入力します。複数の E メールアドレスを入力する場合は、カンマで区切ります。通知には、最大 10 個の E メールアドレスを関連付けることができます。
16. (オプション) [Amazon SNS アラート] では、Amazon SNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) を入力します。

    通知に Amazon SNS トピックを使用する必要があるが、トピックがない場合は、「Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド」の「トピックの作成」を参照してください。

    AWS は、Amazon SNS トピックにテスト E メールを送信することで、予算に Amazon SNS トピックに通知を送信するアクセス許可があることを確認します。

    予算アクセス許可を付与するためのサンプルポリシーと手順については、「予算通知用の Amazon SNS トピックの作成」を参照してください。通知は 1 つの Amazon SNS トピックにのみサブスクライブできます。
17. [次へ] を選択します。
18. [予算を作成] をクリックします。

Savings Plans が の使用に適用される仕組みを理解する

アクティブな Savings Plans がある場合は、対象となる AWS 使用量に自動的に適用され、請求額が削減されます。

Savings Plans を用いた場合の請求額の計算

Amazon EC2 リザーブドインスタンス (RI) が適用された後の使用に Savings Plans が適用されます。

現在の Savings Plans は、グループ化されており、対象となる使用に適用されます。Compute Savings Plans の方が適用範囲が広いため、EC2 Instance Savings Plans は Compute Savings Plans よりも優先して適用されます。

一括請求ファミリーでは、Savings Plans は、まず所有者アカウントの使用に適用され、次に他のアカウントの使用に適用されます。これは共有が有効になっている場合にのみ発生します。

対象となる使用の組み合わせごとに、潜在的な削減率を計算します。この割合は、Savings Plans の料金と現在のオンデマンド料金を比較したものです。Savings Plans は、削減率が最も高いものがまず適用されます。削減率が等しい使用が複数ある場合、Savings Plans は、Savings Plans の割合が最も低い使用にまず適用されます。Savings Plans は、残りの使用分がなくなるか、コミットメントがなくなるまで引き続き適用されます。残りの使用はオンデマンド価格で課金されます。

Savings Plans の例

これらの例に示されている料金はあくまで例示的なものです。この例では、1 時間に以下の使用がなされたものとします。

- `r5.4xlarge` Linux x 4、us-east-1 での共有テナンシーインスタンス、1 時間稼働
- `m5.24xlarge` Windows x 1、us-east-1 での専有テナンシーインスタンス、1 時間稼働
- us-west-1 での 400 個の vCPU と 1,600GB の Fargate 使用
- us-east-2 の 512 MB (0.5 GB) の AWS Lambda メモリの使用に対して 100 万リクエスト、各 3 秒間持続

料金の例

	オンデマンド料金	Compute Savings Plans の料金	Compute Savings Plans 削減率	EC2 Instance Savings Plans の料金	EC2 Instance Savings Plans 削減率
r5.4xlarge Linux	1.00 USD	0.70 USD	30%	0.60 USD	40%
Fargate vCPU	0.04 USD	0.03 USD	25%	該当なし	該当なし
Fargate GB	0.004 USD	0.003 USD	25%	該当なし	該当なし
m5.24xlarge Windows	10.00 USD	8.20 USD	18%	7.80 USD	22%
Lambda 時間 (GB/秒あたり)	0.000015 USD	0 USD。00001 275「」	15%	該当なし	該当なし
Lambda リクエスト (100 万リクエストあたり)	0.20 USD	0.20 USD	0%	該当なし	該当なし

この例では、使用の構成に一致する一部前払いの Savings Plans (期間 1 年間) と仮定しています。簡略化のため、料金と削減率は仮定のものです。

シナリオ例

- シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する
- シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する
- シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する
- シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスを使用に適用する
- シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する

シナリオ 1: Savings Plans をすべての使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 50.00 USD のコミットメントで購入するとします。

各使用量と同等の Compute Savings Plans を掛けると 47.13 USD になるため、この Saving Plans はすべての使用量をカバーします。それでも 1 時間あたり 50.00 USD のコミットメントを下回っています。

Savings Plans がない場合は、59.10 USD のオンデマンド料金で請求されます。

> **Note**
>
> 各時間のコミットメントは、その時間内でのみ使用でき、引き継ぐことはできません。

シナリオ 2: Savings Plans を一部の使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 2.00 USD のコミットメントで購入するとします。

どの時間でも、削減率最も高い (30% の) Savings Plans から順にお客様の使用量に適用されます。

1 時間あたり 2.00 USD のコミットメントにより、この使用量のうち 約 2.9 ユニットがカバーされます。残りの 1.1 ユニットはオンデマンド料金で請求されるため、`r5` のオンデマンド料金は 1.14 USD になります。

Fargate `m5.24xlarge` と Lambda の使用量もオンデマンド料金で請求されるため、55.10 USD のオンデマンド料金が発生します。この使用のオンデマンド料金の合計は 56.24 USD です。

シナリオ 3: Savings Plans が製品全体の一部の使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 19.60 USD のコミットメントで購入するとします。

削減率が最も高い (30% である) ため、最初に Savings Plans が `r5.4xlarge` に適用されます。

削減率が次に高い (25% である) ため、次に Savings Plans がFargate の使用に適用されます。Savings Plans は、コンピューティング (vCPU) の前にメモリ (GB) に適用されます。これは、

メモリの方が Savings Plans の料金が低いためです。1 時間あたりの 19.60 USD のコミットメントが満たされ、残りの使用量はオンデマンド料金で請求されます。

`m5.24xlarge` とLambda の使用量に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

シナリオ 4: Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスを使用に適用する

1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans を 1 時間あたり 18.20 USD のコミットメントで購入するとします。us-east-1 には `r5.4xlarge` Linux 共有テナンシー用の 2 つの EC2 リザーブドインスタンス (RI) が存在するとします。

まず、RI は 2 つの `r5.4xlarge` インスタンスをカバーします。次に、Savings Plans の料金が残りの `r5.4xlarge` と Fargate の使用に適用されます。これにより、1 時間あたりのコミットメントである 18.20 USD が使い果たされます。

`m5.24xlarge` および Lambda の使用に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

シナリオ 5: 複数の Savings Plans を使用に適用する

us-east-1 の `r5` ファミリー向けの 1 年間の一部前払いの EC2 インスタンスファミリー Savings Plans を 1 時間あたり 3.00 USD のコミットメントで購入します。また、1 時間あたり 16.80 USD のコミットメントによる、1 年間の一部前払いの Compute Savings Plans もあります。

EC2 インスタンスファミリー Savings Plans (`r5`、us-east-1) は、使用量に EC2 インスタンスファミリー Savings Plans の料金を掛けると 2.40 USD になるため、すべての `r5.4xlarge` 使用量をカバーします。これは 1 時間あたり 3.00 USD のコミットメントを下回ります。

次に、残りの使用量の削減率が最も高い (25% である) Fargate の使用量に Compute Savings Plans が適用されます。メモリの方が Savings Plans のレートが低いため、Savings Plans はコンピューティング (vCPU) の前にメモリ (GB) に適用されます。1 時間あたりの 16.80 USD のコミットメントが満たされ、残りの使用量はオンデマンド料金で請求されます。

`m5.24xlarge` および Lambda の使用に対するオンデマンド料金は 32.70 USD です。

詳細については、「AWS Billing and Cost Management ユーザーガイド」の「一括請求について」を参照してください。

Amazon EventBridge を使って Savings Plans を自動化する

EventBridge は、 AWS サービスを自動化し、アプリケーションの可用性の問題やリソースの変更などのシステムイベントに自動的に対応します。 AWS サービスからのイベントは、ほぼリアルタイムで EventBridge に配信されます。イベントは、ベストエフォートベースで出力されます。作成されたルールに基づいて、イベントがルールで指定されている値に一致するときに、EventBridge が 1 つ、または複数のターゲットアクションを呼び出します。

自動的にトリガーできるオペレーションには、以下が含まれます。

- AWS Lambda 関数の呼び出し
- Amazon EC2 Run Command の呼び出し
- Amazon Kinesis Data Streams へのイベントの中継
- AWS Step Functions ステートマシンのアクティブ化
- Amazon SNS トピックまたは AWS SMS キューの通知

Savings Plans で CloudWatch Events を使用する例をいくつか次に示します。

- Savings Plans の廃止時に Lambda 関数をアクティブにする。
- Savings Plans が `payment-failed` または `active` とマークされたときに Amazon SNS トピックを通知する。

詳細については、「Amazon CloudWatch Events ユーザーガイド」を参照してください。

Savings Plans からのイベント例

このセクションでは、Savings Plans からのイベント例を示します。Savings Plans では、2 種類のイベントが生成されます。状態の変更をきっかけにトリガーされる状態変更イベントと、1 日または 7 日後に予定されている状態の変更を通知する状態変更アラートイベントです。

Savings Plans 状態変更イベント

Savings Plans の状態変更は、Savings Plans がある状態から別の状態に移行したときに生成されます。例えば、`payment-pending` 状態が `active` に変更になるときや、`active` 状態が `retired` に変更になるときです。

```
{
    "version": "0",
    "id": "999cccaa-eaaa-0000-1111-123456789012",
    "detail-type": "Savings Plans State Change",
    "source": "aws.savingsplans",
    "account": "123456789012",
    "time": "2020-09-16T20:43:05Z",
    "region": "us-east-1",
    "resources": [
        "arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/07ec53ab-91c3-4ac5-
bde6-79fd53192252"
    ],
    "detail": {
        "severity": "INFO",
        "previousState": "payment-pending",
        "currentState": "active",
        "message": "PaymentSuccessful"
    }
}
```

状態変更イベントには、リソース (Savings Plans ARN)、以前の状態、現在の状態、重要度、およびメッセージのフィールドが含まれます。

状態変更イベントに指定できる値

previousState	currentState	severity	message
queued	payment-pending	INFO	`QueuedPurchaseFulfillment`

queued	payment-failed	ERROR	`LimitExceededException`
			
			or
			
			`SavingsPlanOfferingNotAvailableException`

previousState	currentState	severity	message
queued	queued-deleted	INFO	`SavingsPlanQueuedDeleted`
payment-pending	ACTIVE	INFO	`PaymentSuccessful`

payment-pending	payment-failed	ERROR	`LimitExcededException`
			or
			`PaymentUnsuccessful`

ACTIVE	retired	INFO	`SavingsPlanExpiration`
ACTIVE	pending-return	INFO	`SavingsPlanReturnRequested`
pending-return	returned	INFO	`SavingsPlanReturnSuccessful`
pending-return	ACTIVE	ERROR	`SavingsPlanReturnUnsuccessful`

Savings Plans の状態変更アラートイベント

Savings Plans の状態変更アラートは、Savings Plans が 1 日後または 7 日後に `queued` 状態から `active` に、または `active` から `retired` に移行するときに生成されます。これは、Savings Plans が廃止される場合や、キューに登録された状態が満たされた場合に通知する事前通知です。

```
{
    "version": "0",
    "id": "999cccaa-eaaa-0000-1111-123456789012",
    "detail-type": "Savings Plans State Changange Alert",
    "source": "aws.savingsplans",
    "account": "123456789012",
    "time": "2020-09-16T00:15:00Z",
    "region": "us-east-1",
    "resources": [
        "arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/07ec53ab-91c3-4ac5-
bde6-79fd53192252",

 "arn:aws:savingsplans::123456789012:savingsplan/19a9fa12-911a-18ed-9aa1-3a2615149a14"
    ],
    "detail": {
        "currentState": "queued",
        "nextState": "active",
        "remainingdays": "1",
        "nextStateChangeDate": "2020-09-17",
        "message": "queued savings plans will go to active state on 2020-09-17"
    }
}
```

状態変更アラートイベントには、リソース (Savings Plans ARN)、現在の状態、次の状態、残り日数、次の状態変更日、およびメッセージのフィールドが含まれます。

状態変化アラートイベントに指定できる値

currentState	nextState	remainir Days	message
queued	ACTIVE	1	キューに登録されている Savings Plans は、YYYY-MM-DD でアクティブ状態になります。
queued	ACTIVE	7	キューに登録されている Savings Plans は、YYYY-MM-DD でアクティブ状態になります。

currentState	nextState	remainir Days	message
ACTIVE	retired	1	アクティブな Savings Plans は、`YYYY-MM-DD` で廃止状態になります。
ACTIVE	retired	7	アクティブな Savings Plans は、`YYYY-MM-DD` で廃止状態になります。

Savings Plans 用の Identity and Access Management

AWS Identity and Access Management (IAM) は、管理者が AWS リソースへのアクセスを安全に制御するのに役立つ AWS サービスです。管理者は、ユーザーが引き受けることができる AWS アカウントでロールを作成できます。ユーザーが AWS リソースを使用してタスクを実行するために必要なアクセス許可を制御します。IAM は追加料金なしでご利用いただけます。

デフォルトでは、ユーザーには Savings Plans のリソースおよびオペレーションのためのアクセス許可がありません。Savings Plans のリソースをユーザーが管理できるようにするには、ユーザーにアクセス許可を委任するロールを作成する必要があります。手順については、「IAM ユーザーガイド」の「ユーザー用ロールの作成」を参照してください。

ポリシーの構造

IAM ポリシーは 1つ以上のステートメントで構成されるJSONドキュメントです。各ステートメントは次のように構成されます。

```
{
  "Statement":[{
    "Effect":"effect",
    "Action":"action",
    "Resource":"arn",
    "Condition":{
      "condition":{
        "key":"value"
        }
      }
    }
  ]
}
```

ステートメントはさまざまなエレメントで構成されます。

- Effect: effect はAllow または Deny にすることができます。デフォルトでは ユーザーはリソースおよび API アクションを使用するアクセス許可がないため、リクエストはすべて拒否されます。明示的な許可はデフォルトに上書きされます。明示的な拒否はすべての許可に優先します。
- [アクション]: アクション は、アクセス許可を付与または拒否する対象とする、特定の API アクションです。

- [リソース]: アクションによって影響を及ぼされるリソースです。Amazon EC2 API アクションの中にはアクションによって作成/変更できるリソースをポリシー内で特定できるものもあります。ステートメント内でリソースを指定するには、Amazonリソースネーム(ARN)を使用する必要があります。詳細については、「Savings Plans によって定義されるアクション」を参照してください。
- Condition] (条件): condition はオプションです。ポリシーの発効条件を指定するために使用します。詳細については、「Savings Plans の条件キー」を参照してください。

AWS 管理ポリシー

によって作成された マネージドポリシーは、一般的なユースケースに必要なアクセス許可 AWS を付与します。ユーザーが引き受けることができるロールを作成したら、必要なアクセス権限に基づいてポリシーをアタッチできます。各ポリシーは、Savings Plans のすべてまたは一部の API アクションに対するアクセス権限を付与します。

Savings Plans の AWS マネージドポリシーは次のとおりです。

- AWSSavingsPlansFullAccess — Savings Plans へのフルアクセスを付与します。
- AWSSavingsPlansReadOnlyAccess — Savings Plans への読み取り専用アクセスを付与します。

ポリシーの例

IAM ポリシーステートメントで、IAM をサポートするすべてのサービスからの任意の API アクションを指定できます。Savings Plans の場合、API アクション の名前に次のプレフィックスを使用します: `savingsplans:`。以下に例を示します。

- `savingsplans:CreateSavingsPlan`
- `savingsplans:DescribeSavingsPlans`

単一のステートメントで複数のアクションを指定するには、次のようにカンマで区切ります。

```
"Action": ["savingsplans:action1", "savingsplans:action2"]
```

ワイルドカードを使用して複数のアクションを指定することもできます。例えば、以下のように「Describe」という単語で始まる名前のすべての Savings Plans API アクションを指定できます。

```
"Action": "savingsplans:Describe*"
```

Savings Plans API アクションをすべて指定するには、* ワイルドカードを以下のように使用します。

```
"Action": "savingsplans:*"
```

を使用した Savings Plans API コールのログ記録 AWS CloudTrail

AWS Savings Plans は AWS CloudTrail、Savings Plans のユーザー、ロール、または のサービスによって実行されたアクションを記録する AWS サービスである と統合されています。 Savings Plans CloudTrail は、すべての API コールをイベントとしてキャプチャします。キャプチャされた呼び出しには、 からの呼び出し AWS Management Console と Savings Plans API オペレーションへのコード呼び出しが含まれます。追跡を作成する場合は、Savings Plans など、Simple Storage Service (Amazon S3) バケットへの CloudTrail イベントの継続的な配信を有効にすることができます。証跡を設定しない場合でも、CloudTrail コンソールの [イベント履歴] で最新のイベントを表示できます。CloudTrail が収集した情報を使用して、Savings Plans に対して行われたリクエスト、リクエスト元の IP アドレス、リクエスト者、リクエスト日時、およびその他の詳細情報を確認できます。

CloudTrail の詳細については、「AWS CloudTrail ユーザーガイド」を参照してください。

CloudTrail での Savings Plans 情報

CloudTrail は、 AWS アカウントの作成時にアカウントで有効になります。Savings Plans でアクティビティが発生すると、そのアクティビティはイベント履歴の他の AWS サービスイベントとともに CloudTrail イベントに記録されます。最近のイベントは、 AWS アカウントで表示、検索、ダウンロードできます。詳細については、「CloudTrailイベント履歴でのイベントの表示」を参照してください。

Savings Plans のイベントなど、 AWS アカウントのイベントの継続的な記録については、証跡を作成します。追跡により、CloudTrail はログファイルを Amazon S3 バケットに配信できます。デフォルトでは、コンソールで証跡を作成すると、証跡はすべての AWS リージョンに適用されます。証跡は、 AWS パーティション内のすべてのリージョンからのイベントをログに記録し、指定した Amazon S3 バケットにログファイルを配信します。さらに、CloudTrail ログで収集されたイベントデータをさらに分析して処理するように、他の AWS サービスを設定できます。詳細については、次を参照してください:

- 証跡の作成のための概要
- CloudTrail がサポートするサービスと統合
- CloudTrail 用 Amazon SNS 通知の構成
- 「複数のリージョンからCloudTrailログファイルを受け取る」および「複数のアカウントからCloudTrailログファイルを受け取る」

すべての Savings Plans アクションは CloudTrail により ログに記録されます。これらのアクションについては、「AWS Savings Plans API リファレンス」で説明されています。例えば、`CreateSavingsPlan` アクションを呼び出すと、CloudTrail ログにエントリが生成されます。

各イベントまたはログエントリには、誰がリクエストを生成したかという情報が含まれます。アイデンティティ情報は、以下を判別するのに役立ちます。

- リクエストが、ルートとユーザーロール認証情報のどちらを使用して送信されたどうか。
- リクエストがロールまたはフェデレーションユーザーのテンポラリなセキュリティ認証情報を使用して行われたかどうか。
- リクエストが別の AWS サービスによって行われたかどうか。

詳細については、CloudTrail userIdentity 要素を参照してください。

Savings Plans ログファイルエントリを理解する

「トレイル」は、指定した Amazon S3 バケットにイベントをログファイルとして配信するように設定できます。CloudTrail のログファイルは、単一か複数のログエントリを含みます。イベントは任意ソースからの単一リクエストを表し、リクエストされたアクション、アクションの日時、リクエストパラメータなどの情報を含みます。CloudTrail ログファイルは、パブリック API 呼び出しの順序付けられたスタックトレースではないため、特定の順序では表示されません。

`CreateSavingsPlan` アクションの CloudTrail ログエントリの例は、以下のとおりです。

```
{
    "eventVersion": "1.05",
    "userIdentity": {
        "type": "AssumedRole",
        "principalId": "[principalId]/[userName]",
        "arn": "arn:aws:sts::[accountId]:assumed-role/[userName]/",
        "accountId": "[accountId]",
        "accessKeyId": "[accessKeyId]",
        "sessionContext": {
            "attributes": {
                "mfaAuthenticated": "false",
                "creationDate": "2019-10-01T00:00:00Z"
            },
            "sessionIssuer": {
                "type": "Role",
                "principalId": "[principalId]",
```

```
                "arn": "arn:aws:iam::[accountId]:role/[userName]",
                "accountId": "[accountId]",
                "userName": "[userName]"
            }
        }
    },
    "eventTime": "2019-10-01T00:00:00Z",
    "eventSource": "savingsplans.amazonaws.com",
    "eventName": "CreateSavingsPlan",
    "awsRegion": "us-east-1",
    "sourceIPAddress": "127.0.0.1",
    "userAgent": "[userAgent]",
    "requestParameters": {
        "commitment": "2.50",
        "savingsPlanOfferingId": "[savingsPlanOfferingId]",
        "clientToken": "[clientToken]",
        "tags": {
            "tag-key": "tag-value"
        }
    },
    "responseElements": {
        "savingsPlanId": "[savingsPlanId]"
    },
    "requestID": "[requestId]",
    "eventID": "[eventId]",
    "readOnly": false,
    "eventType": "AwsApiCall",
    "recipientAccountId": "[accountId]"
}
```

クォータと制限

次の表に、Savings Plans 機能内の現在のクォータと制限を示します。

Savings Plans

一括請求ファミリーごとの、Savings Plans 推奨に対する毎日の更新リクエストの最大数	3
同じ暦月の購入から 7 日以内であれば返金できる 1 暦年あたりの購入済み Savings Plans の最大数	管理アカウントあたり 10 Note Savings Plans を返すときに使用する管理アカウントは、プランの購入に使用された管理アカウントと同じである必要があります。
アカウント ID ごとに実行される 1 日あたりの Savings Plans Purchase Analyzer の最大数	20

ドキュメント履歴

次の表では、このサービスのリリースを説明しています。

変更	説明	日付
Savings Plans Purchase Analyzer	購入する Savings Plans のコスト、カバレッジ、使用率への影響を見積もるのに役立つ新機能が追加されました。	2024 年 11 月 21 日
Savings Plans を解除する	1 時間あたりのコミットメント額が 100 USD 以下の Savings Plans を、購入した暦月内で、かつ購入から 7 日以内であれば解除できる新機能を追加しました。	2024 年 3 月 20 日
Visual Savings Plans 推奨事項	新しい視覚的なグラフを通じて Savings Plans 推奨事項を理解し検証するのに役立つ新機能を追加しました。	2023 年 7 月 24 日
Savings Plans 推奨事項を更新する	Savings Plans の現在のインベントリと最新の使用量データが反映されるように、Savings Plans 推奨事項を更新する新機能を追加しました。	2022 年 12 月 5 日
AWS Fargate Savings Plans	Savings Plans では、Amazon ECS と Amazon EKS の両方で AWS Fargate の使用のサポートが追加されています。	2020 年 8 月 10 日
Lambda サービスのオンボーディング	Lambdaは、Savings Plans の対象となる新しいサービスとして開始されました。	2020 年 2 月 20 日

初回リリース	本リリースで Savings Plans を導入しました。	2019 年 11 月 6 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。